

## ■降りだす前が、勝負です■

夏に降る雨は降り始めたらいきなり激しくなる。だから降り始めてから雨具を着たり荷物の雨覆いをしようとしても往々にして手遅れで、自分か荷物か、あるいはその両方をすぶ濡れにしまうことになりかねない。とは言え、いくら急に降るとはいっても何の予兆もなくいきなり降り出すことはありえない。屋外にいる時は常に空模様や気象状況の変化に注意し、危ないと思ったら早々に対策を始めよう。

### ●知っておきたい雨の予兆

- ・風上の方に暗雲が見える。
- ・晴れていた空が急に雲に覆われ薄暗くなる。
- ・遠くからゴロゴロという遠雷が聞こえる。
- ・急にひんやりとした涼しい風が吹いてくる。
- ・空気がもわっと湿気たように感じられる。
- ・気圧に敏感な人は怠さや頭痛などの不調を感じる。

これらの雨の予兆が観測されたら、何をさて置いてもスマホのアプリやネット上の気象情報を立ち上げ、付近で雨が降っていないか、雨雲がこちらに向かっていないかを確認しよう。

もし直近に降雨が予想されるなら、**まずは荷物や戦利品の雨対策を行い、次に自分の雨具をすぐに取り出せる位置にスタンバイしておこう。**会場で雨に見舞われるケースを想定し、ポンチョ、バッグをまるごと覆える大きさのビニール袋、念のため本を入れておくポリ袋やプラケースなどはあらかじめ用意しておこう。戦利品を台無しにしてから後悔しても、遅すぎるのだ。

■リアルタイム降雨情報 気象庁 レーダー・ナウキャスト  
<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>



### ●君足痛メル事ナカレ

コミケットの会場で何がツライ、困るかと言えば、足を痛めてしまった時だ。コミケットではひたすら歩き回ることしか目的を果たすことはできないので、せっかく参加しても途中で足を痛めてしまえば、それ以降は機動力が激減、今までに購入した本や荷物が一転移動の障害と化し、帰宅するのさえも苦労することになる。

会場で足を襲うトラブルには、マメ、靴ズレ、ねんざ、爪が割れる、足を踏まれる、日焼けするなど、実に数多い上にいずれもその後のダメージが大きい。その上、靴が壊れた（靴底がはがれた、ストラップが切れたなど）のトラブルも起こりうる。なので、コミケットで最も頼られ、かつ酷使されるアナタの足に対して、もっと気を使うべきだ。

具体的には、サンダルなどの靴ズレを起こしやすく、踏まれたときにダメージの大きなものを避け、軽くて丈夫で足をしっかりホールドしてくれる靴を履いて行く・日焼けしないようストッキングやソックスを履く・靴ズレ対策に絆創膏などを用意しておく、足をドライに保てる化繊の靴下を履く、といったようなことだ。そして帰宅後にも、しっかりフットケアを！

